

令和7年度
狭山市立南小学校

目指す学校像

児童一人一人を伸ばす学校「ルール チームワーク ベスト」



学校経営方針

◇ 学校は笑顔と真剣な顔が輝くところ ◇

- 「ルールを守る」のは生活の基盤を作るためである。
 - ・児童と先生の教育活動における基盤を作る。それは将来の社会生活での基盤につながる。
 - ・「いじめをしない」「思いやりの心をもつ」そうすることで自他ともに気持ちよく生活ができ、安心できる生活空間の構築につながる。
- 「チームワークをつくる」ことは自分も他人も大切に生かすことである。
 - ・チームの中で自分の強みを生かして自身の役割を果たすことによりチームも強くなる。
 - ・目標に向かってチームワークがつくられると集団と個の力が相互作用でさらに成長する。
 - ・チームの一員としての自覚と貢献が、個が安心できる所属感や自己有用感につながる。
- 「ベストをつくす」ことは昨日の自分に負けないで一步成長することになる。
 - ・力の出し惜しみをせず、ベストをつくす習慣をつけることで個の力が磨かれる。
 - ・ベストをつくす経験を繰り返すことで、チャレンジすることの意義を理解し、自信をもって行動できるようになる。

学校教育目標

考える子 伸よくする子 働く子

目指す児童像

みんななかよくみがきあう 児童

・ルールをまもる ・チームワークをつくる ・ベストをつくす

上級学校に向けて(目標の先に)

「自主・自律・自覚」

自分で考え、自ら行動できる

「貢献」

誰かの役に立つことをする

目指す教師像

◇ 児童一人一人を認め、励まし、伸ばす教師 ◇

- ・心身ともに健康で笑顔で児童の前に立てる教師
- ・自ら学び続け組織的に活動できる教師
 - すべては未来を創る子供たちのために
 - 子供にとって教師は最大の教育環境である

◇ 児童がたくましく未来を切り拓いていくために、この力を伸ばし、学びの質にこだわる。

- ・自分の考えをもつ力
- ・自分を表現する力
- ・相手の話を聴く力
- ・人を大切にする力
- ・チャレンジする力
- ・続ける力

本年度の指導の重点・努力

1 安心安全な学校づくりの推進

登下校の安全指導の徹底、自転車の安全な乗り方、ヘルメットの着用などの交通安全指導、感染症予防対策の継続、安全点検の確実な実施

2 基礎・基本の徹底

基本的な生活習慣の定着と体力づくり、学びを実感できる授業の展開(「狭山市学力向上プラン」の活用)、道徳科指導と特別活動の充実

3 研修の充実

自他ともに大切にできる児童の育成を目指した研修、GIGAスクール構想の着実な推進、研修機会の確保と工夫

4 生徒指導・教育相談の充実

確実な情報共有と迅速な対応、Q-U検査の活用、わかば学級との交流、さやまっ子相談支援員・スクールカウンセラーによる相談、外部機関との連携

5 開かれた学校づくり

地域の教育力(学校運営協議会、地域学校協働活動)の積極的な活用、適時に適切な情報発信(ホームページやメール等の工夫)

6 異校種との連携充実

保幼小との積極的な連携・情報交換、小中の積極的な連携・情報交換(入間野中・入間野小)